

会議記録（要点筆記）

委員会名		秦野市子ども・子育て会議(平成28年度 第1回)																																																	
日時	平成28年11月21日(月) 午後4時から午後6時	場所	秦野市役所4階 議会第一会議室																																																
出席者	<table border="0"> <tr> <td>[委員氏名]</td> <td>[所属団体等]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小林 正稔(会長)</td> <td>:</td> <td>神奈川県立保健福祉大学教授</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小林 徳博(副会長)</td> <td>:</td> <td>元・二宮町教育委員、元・小学校長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>佐々木 陽一</td> <td>:</td> <td>株式会社PHP研究所 公共経営支援センター コンサルタント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大澤 一之</td> <td>:</td> <td>民間幼稚園長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>草山 充</td> <td>:</td> <td>秦野市民間保育園園長会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>串田 祐基</td> <td>:</td> <td>地域型保育事業者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>佐々木 広世</td> <td>:</td> <td>秦野市学童保育連絡協議会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>妹尾 洋之</td> <td>:</td> <td>神奈川県平塚児童相談所子ども相談課長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>栗原 誉紀</td> <td>:</td> <td>秦野市PTA連絡協議会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>清水 幸代</td> <td>:</td> <td>市民委員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>矢野 博子</td> <td>:</td> <td>市民委員</td> <td></td> </tr> </table>			[委員氏名]	[所属団体等]			小林 正稔(会長)	:	神奈川県立保健福祉大学教授		小林 徳博(副会長)	:	元・二宮町教育委員、元・小学校長		佐々木 陽一	:	株式会社PHP研究所 公共経営支援センター コンサルタント		大澤 一之	:	民間幼稚園長		草山 充	:	秦野市民間保育園園長会		串田 祐基	:	地域型保育事業者		佐々木 広世	:	秦野市学童保育連絡協議会		妹尾 洋之	:	神奈川県平塚児童相談所子ども相談課長		栗原 誉紀	:	秦野市PTA連絡協議会		清水 幸代	:	市民委員		矢野 博子	:	市民委員	
[委員氏名]	[所属団体等]																																																		
小林 正稔(会長)	:	神奈川県立保健福祉大学教授																																																	
小林 徳博(副会長)	:	元・二宮町教育委員、元・小学校長																																																	
佐々木 陽一	:	株式会社PHP研究所 公共経営支援センター コンサルタント																																																	
大澤 一之	:	民間幼稚園長																																																	
草山 充	:	秦野市民間保育園園長会																																																	
串田 祐基	:	地域型保育事業者																																																	
佐々木 広世	:	秦野市学童保育連絡協議会																																																	
妹尾 洋之	:	神奈川県平塚児童相談所子ども相談課長																																																	
栗原 誉紀	:	秦野市PTA連絡協議会																																																	
清水 幸代	:	市民委員																																																	
矢野 博子	:	市民委員																																																	
欠席者	<table border="0"> <tr> <td>[委員氏名]</td> <td>[所属団体等]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内藤 剛彦</td> <td>:</td> <td>秦野市医師会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>伊奈 真奈美</td> <td>:</td> <td>秦野市民間保育園主任の会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土田 正子</td> <td>:</td> <td>秦野市幼稚園・こども園PTA連絡協議会</td> <td></td> </tr> </table>			[委員氏名]	[所属団体等]			内藤 剛彦	:	秦野市医師会		伊奈 真奈美	:	秦野市民間保育園主任の会		土田 正子	:	秦野市幼稚園・こども園PTA連絡協議会																																	
[委員氏名]	[所属団体等]																																																		
内藤 剛彦	:	秦野市医師会																																																	
伊奈 真奈美	:	秦野市民間保育園主任の会																																																	
土田 正子	:	秦野市幼稚園・こども園PTA連絡協議会																																																	
<table border="0"> <tr> <td>[事務局]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>こども健康部長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>こども健康部 子育て支援課長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>こども健康部 保育こども園課長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教育部 教育総務課長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[その他]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>こども健康部 健康づくり課長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>こども健康部 こども育成課</td> <td></td> </tr> <tr> <td>こども若者相談担当課長</td> <td></td> </tr> </table>		[事務局]		こども健康部長		こども健康部 子育て支援課長		こども健康部 保育こども園課長		教育部 教育総務課長		[その他]		こども健康部 健康づくり課長		こども健康部 こども育成課		こども若者相談担当課長		<table border="0"> <tr> <td>[庶務担当(こども健康部子育て支援課)]</td> </tr> <tr> <td>課長代理</td> </tr> <tr> <td>主任主事</td> </tr> <tr> <td>主事</td> </tr> </table>		[庶務担当(こども健康部子育て支援課)]	課長代理	主任主事	主事																										
[事務局]																																																			
こども健康部長																																																			
こども健康部 子育て支援課長																																																			
こども健康部 保育こども園課長																																																			
教育部 教育総務課長																																																			
[その他]																																																			
こども健康部 健康づくり課長																																																			
こども健康部 こども育成課																																																			
こども若者相談担当課長																																																			
[庶務担当(こども健康部子育て支援課)]																																																			
課長代理																																																			
主任主事																																																			
主事																																																			

議事内容	<p>1 開 会</p> <p>2 新任委員委嘱状の交付</p> <p>3 会長挨拶</p> <p>4 新任委員紹介・事務局紹介</p> <p>5 議 事</p> <p>(1) 秦野市子ども・子育て支援事業計画の平成27年度実施状況について</p> <p>(2) 放課後児童ホームについて</p> <p>6 閉 会</p>
配付資料	<p>次第・委員名簿</p> <p>資料1：平成27年度秦野市子ども・子育て支援事業計画実施状況報告書</p> <p>資料2：放課後児童ホームについて</p>

**[1 開会]**

**[2 委員委嘱]**

伊奈 真奈美：秦野市民間保育園主任の会

栗原 誉紀：秦野市PTA連絡協議会

土田 正子：秦野市幼稚園・こども園PTA連絡協議会

**[3 会長挨拶]**

**[4 新任委員紹介・事務局職員紹介]**

**[5 議事]**

**(1) 秦野市子ども・子育て支援事業計画の平成27年度実施状況について**

○事務局

（秦野市子ども・子育て支援事業計画の平成27年度実施状況について、「資料1に基づいて説明）

○会長

担当課よりC評価となった項目について、補足説明があればいただきたい。

○事務局

P3「一時預かり事業（保育所）」につきまして、公立こども園4園及び民間保育園8園で待機児童対策として、保育所入所等を優先事業として行いながらの事業実施となりましたため、目標確保量の確保に届いていない結果となっております。

○事務局

P6「産前・産後サポート事業」につきましては、母子保健事業の中で妊娠出産包

括事業を昨年度からスタートしており、それに伴う出産前、出産後のサポートも考えておりましたが、妊娠出産包括事業本体に時間を費やす中で、先輩ママ、シニアママ、子育てママを訪問するスキーム案を作ることができなかったという事情があります。今年度「産後ケア事業」を展開する予定でしたが、事業者との調整の中で行うことができているため、今現在この「産前・産後サポート事業」をソフト的な取り組みとして事業担当も進めておりますので、いましばらく、お時間をいただいた中で、その成果を御確認いただければと思います。

○委員

今の話より戻ってしまうが、P1「教育・保育の質の向上」について、今後の取り組みの中で「研修情報の提供に努める」とありますが、他市で事故があったこと等もふまえ、「研修情報の提供」だけにとどまらず、質を底上げするような、秦野市として独自の研修を行ったりチェックシートを実施したりする等、御検討いただきたいと思えます。

○会長

確保量を拡大する中で、「何を大切にするか」ということが、各自治体及び事業の中で、なおざりになってしまいがちになっている気がします。各担当課が共同する中で、保育士ないし保護者等が「ちゃんとできている」ということをチェックできるようなシステムが必要と考えられます。そして、そのシステムが次の世代の育成にもつながると考えられます。数値目標もないため、縛られずに御検討いただければと思います。

例として、アメリカのベビーシッターをする時の研修を行うための基礎資料というものを挙げますが、一番初めのルーティンとしては大変参考になる資料です。この資料は高校生クラスの子どもたちにでも理解できるようにできていて、「分かっているつもりで、分かっていない」ことを見直す大変参考になる資料になります。必要とあれば、情報提供いたしますので、御連絡いただき、秦野市としても御検討いただけると幸いです。

○委員

P1「教育・保育の量の確保」について、平成27年度中に秦野市の待機児童数は解消されたのか、「実績確保量」と「実施状況」との比較を踏まえて、教えていただきたい。また、「今後の取り組み」の中でみなみがおか幼稚園のこども園化が書かれているが、公私連携による幼保連携型認定こども園についてどのようなものなのか教えていただきたい。

○事務局

「確保量」につきましては、目標に届いていないため、今後も拡大に向けて努めていきます。また、待機児童につきましては、平成27年度はありましたが、平成28年度4月1日時点で測定の見直しをしたので、ゼロとなっております。ただし、

申し込んだが入所できていない保留児童は87名おり、また年度内でも入所希望者の変化はあることから、今後も引き続き整備を図っていきたいと考えております。

次にみなみがおか幼稚園のこども園化につきまして、幼稚園を所管する教育委員会と調整しながら進めておりますが、「公私連携」という用語は、「公」が「私」に対して土地や建物を有利な条件で貸す代わりに、協定等を結ぶことにより「私」の運営についても「公」に係るということです。

○委員

今現在いる教職員については、引き続き「公」である市役所の方で管理し続けるのか。それとも「私」である民間の運営の中で管理していくのか。

○事務局

市が培ってきたノウハウなどを引き継いでもらう部分等はあるものの、協定を結びイメージ的には「指定管理者制度」に近いようなイメージとなります。そのため、職員につきましては運営する法人が雇用し管理することとなります。

○委員

「市」「民間」それぞれの思いがあると思うので、深くかかわったうえで進めていただきたいと思います。

○会長

民間の考え方で考えた時に、秦野市で現在行っている幼保連携型認定こども園の形態は、運営のしにくさや理解のしにくさが生じることが考えられる。そのため、市における十分なノウハウの提供や関与が必要であり、「公」「私」両方の経験及び双方の連携体制が必要となってくる。

○委員

こども園化を行うことに反対ではないが、現状、神奈川県下ではほとんどの幼稚園で子どもが定員数に達していない状態である。そのため、既存の幼稚園又は保育園の近くにこども園が新設されることは、幼稚園、保育園経営を行ううえでは、必ずしも良いこととは言い切れないと考えている。今後、子どもの数が減っていくことが予想される中で、市町村だけではなく、地域の状況下に合わせながら、幼稚園、保育園の経営にも考慮して計画を進めていただきたい。

○会長

この計画はうまくいけば、既存の幼稚園や保育園を守る計画となることも考えられるため、慎重に進めていただきたい。また公立のこども園をつくる時に時間をかけて、行ってきたノウハウは大切だと思うので、これを機に民間にも伝えていけたらいいと考えます。

○委員

今回の報告書の様式についてだが、計画の最終年度である「平成31年度の最終目標」が記載されていなく、最終目標がみえてこないため載せていただきたい。載せる

ことにより各年度の進捗だけでなく、最終目標に対してどうなのかということの評価できる報告書になることが想定される。また計画や目標が「一」になっており具体的な目標等が設定されていない事業については、なおのこと管理があいまいになってしまうので、目標に向けた管理をしっかりと行う必要があると考えられる。

○会長

一般の方々もみる資料となるため、今後修正をお願いしたい。

○事務局

了承いたしました。

○委員

話は戻ってしまうが、みなみがおか幼稚園がこども園化すると、南が丘に公立幼稚園は無くなってしまうのか。

○事務局

公立の幼稚園は無くなります。

○委員

地区からの反対はなかったのか。

○事務局

幼稚園に通園している園児の保護者等には3月と5月に説明会を行い、保護者を含めた地域の住民の方々には7月と9月に意見交換会を行い一定の理解をいただいているものと考えております。加えて、南が丘地区の学区の方々には2度、自治会の組回覧によって、こども園化の周知に努めております。

○会長

パイロット事業として考えた中で、ミライエ秦野の考え方やぼけっと21がミライエに併設されていることに関して、事務局の説明できる範囲で委員に対して説明をお願いしたい。

○事務局

（ミライエの資料を追加配布し、概略を説明）

○会長

交通の便がよく、カルチャーパークの整備と併せて整備されてきた気がする。また、スーパーコンビニもあり、生活がしやすい環境である。また、水源もいいところである。

○委員

入居者要件の中で、単身をのぞいているのはなぜか。

○事務局

定住化促進と出産、子育てを秦野市で行ってほしいということを目的としております。本来は他市から移り住んでいただきたいのですが、現在申込している9割は市内在住の方になっているため、他市へ出ていくことを防ぐ役割も果たしているのではと

思います。しかし、本来は定住化促進ということなので、少子化対策を伴って行っている事業であるため、単身の方は対象から外している。

○会長

こういった「応援しますよ」といった事業は、ずっと住んでいける、安心できる街だと受けることができる。具体的に「見える事業」のため、検診等の「見えにくい」事業と併用し頑張ってもらいたい。

○委員

チラシにおける最寄りの保育園とはどこのことか。

○事務局

みどりこども園かもしくは西の方にも「車で5分」の距離の保育園はいくつかあるため、1か所に特定はしておりません。

○委員

P2「養育支援訪問事業」について、事業対象者見込20人に対し、71人ということはお机上で想定していた人数よりも実際の人数が多かったことになる。これは、足を動かして訪問する中で見えてきたことだと思うので、是非今後も頑張ってください。

2点目としてP10「放課後子ども教室の推進」について、他地区における推進状況を教えてもらいたい。

3点目として、P11「秦野市立小学校における巡回教育支援相談事業」について、秦野市独自の支援態勢としていい活動だと思うが、教育指導課等を中心として重要な情報等を共有化し共通の認識を持てるようなシステムは構築されているのか教えてもらいたい。

○委員

児童ホームに預けたいが、なかなか上地区のこどもの受け入れが難しい状態となっているため検討していただきたい。また補助金についての申請もなかなか下りないため、厳しい状況である。

○事務局

2点目であります「放課後子ども教室の推進」にきまして、上小学校にある児童ホームを含め放課後児童ホーム、放課後子ども教室が双方調整しながら、子どもたちの放課後の居場所づくりとして受け入れていきたいと考えております。また、補助金につきましても、国の方に申請をしているものの、なかなか全てが降りるわけではないという状況であるものの、内容を確認させていただき申請をさせていただいているという状況につきましても、御理解いただければと思います。

○事務局

3点目であります「秦野市立小学校における巡回教育支援相談事業」につきましても、情報共有を徹底し、早期発見や相談員学校の先生のスキルアップにつながるよう努め

ていきたいと考えております。

○会長

上地区の話は学童保育だけで考えることは厳しい状況であるため、コミュニティバスの活用等、他の支援と組み合わせる中で考えていただきたい。

○委員

P2「養育支援訪問事業」について、3倍強の確保があったため、事業の見直しが必要ではないかと思う。

2点目、同ページ「乳児家庭全戸訪問事業」について、訪問できなかった6パーセントはどういった理由があったのか。

3点目、「子育て短期支援事業」について、児童擁護施設が秦野にはないため、必要としている秦野の子どもたちはどこに行っているのか。

4点目、P3「一時預かり事業（保育所）」について、待機児童対策を優先して行っているため、一時預かり事業が目標に届かなかったとあったが、待機児童がいなくなったからといって、必ずしも一時預かり事業が拡充できるわけではないと考える。現在、各園バラバラに一時預かり事業のやり方を任せている状況だと思うが、そのやり方についての改善についても、検討する必要があるのではないかと考える。

5点目、同ページ「病児・病後児保育事業」についてだが、確保量の計算方法が分からなかったので教えてほしい。

6点目、P4「障害児デイサービス事業」について、見込み量の記載がないが、ある程度見込みの予測はつくのではないかと考えるため、確保量と比べられるようにしてほしい。

7点目、同ページ「ことばの相談室」についても、待ち状況が非常に多いと聞いているので、同じように見込み量と確保量を比べながら施策を投じていかなければいけないのではと考える。

最後に、新聞で読んだ話の「はだの生涯元気プラン」の中で、幼稚園・保護者対象講座というものを見かけたが、食育の本当のターゲットは子ども自身であると考えするため、子ども対象である事業をいくつか考えていった方がいいのでは、と考える。

○事務局

2点目であります「乳児家庭全戸訪問事業」につきまして、訪問できなかった6パーセントの理由は「里帰り出産」や母親が引き続き入院している等があります。また、中には頑なに拒否する場合がありますが、乳幼児健診の実施時に対応をしたり、家庭訪問を行う等して、最終的には全戸訪問できるようにしております。

○事務局

4点目であります「一時預かり事業（保育所）」につきまして、一時預かり事業のやり方について今後検討していきます。

5点目であります「病児・病後児保育事業」における目標確保量につきましては、

計画作成時に人数量に基づき、作成したものになります。

○委員

P1「保育コンシェルジュ」について、個別対応しているということだが、相談も件数が増えると傾向が出てくるため、Q&Aのようなものをつくればどうかと考える。

また、「ぼけっと21」について、成果がなかなか見えにくいいため、内容として出してもらいたい。

○会長

「保育コンシェルジュ」について、ハウツーができれば窓口でも対応できるようになると思うが、他市での事例として、保育コンシェルジュを入れることによって、職員の窓口での対応がよくなったという事例がある。そのため、Q&Aのようなものの作成も検討してもらえればいかと考える。「ぼけっと21」について、予約が必要なく気軽に利用できるという点で、秦野は県内的にもとてもユニークであるため、どのようなやり方をしているかということが分かるといいと思う。県内で「予約をしなくていい」「父親を連れてきてもいい」「兄弟を連れてきてもいい」という子育て支援というのは、他にないため、理解してもらいたい。

また、将来的にみる中で、子育ての拠点整備が必要になってくるため、青少年相談室と子育て支援課が一緒にやってきたことをヒントにして、既存の中で整備できればいいと考えている。

さらに、教育の部分として、すえひろ小学校に秦野養護学校の分室ができると思うが、支援教育全体としての方向性をさらに強く打ち出していくことが必要と考える。秦野市の教育委員会が秦野養護学校との連携はかなり早い時期から行っていると思うので、その伝統を活かしながら、秦野市全体の施策展開を検討してもらいたい。

## (2) 放課後児童ホームについて

○事務局

（放課後児童ホームについて「資料2」に基づいて説明）

○会長

「資料2」について何か御質問はありますか。

○委員

障害を持っている子どもや児童ホーム内でいじめを受けている子ども等の対応の必要性について、もう少し高めて考えていかなければ児童ホームの質の向上にはつながらないと思う。

また、補助金の支払いが後払いになってしまうため、工面が厳しい状況である。

○会長

児童ホームにおける補助金は措置費に当たるため、後払いという考えできている。難しいことは承知しているが、人件費、その他費用だけでももらえるよう、市から県



や国に要望を続けてもらいたい。

また、研修について、最近は〇〇セラピー等こて先に頼りすぎているものが多い。参加と活動が重要となってくるため、秦野市として全体の研修計画をつくることを検討してもらいたい。

○委員

補助金の支払いを毎月行うことはできないのか。

○事務局

要綱において「年数回に分けて」と定めているため、他市等の状況を調べて検討していきたい。市単独での補助は厳しいため、県、国の補助と併せて補助させてもらいたいため、県、国の交付決定が正式に通知されてから補助を行わせていただきたいと考えております。

○会長

市の方からも県・国に要望を引き続き提案していただきながら、児童ホームも含めた事業所と一緒に環境整備を図っていこうという姿勢で頑張っていってほしいと思う。

**(3) その他**

○事務局

次回の開催日程については未定ですが、案件が生じた際に調整させていただきます。

**[6 閉会]**